

取付・設置説明書

(補足:袖壁コンビパネルプラン)

もくじ

安全上のご注意	1～2
取付・設置上のお願い	2
工事区分	3
各部の名称	3
付属部品の確認	4
取付・設置手順	
1. 事前工事	4
2. キャビネットの設置前準備	5
3. キャビネットの取付け	5
4. バックパネルの取付け	6～7
5. 人造大理石ワークトップの取付け	7
6. サイドパネルの取付け	7
7. アルミカバーの取付け	8
仕上げ	8
点検・完了後の処置・残材処理	8

取付・設置をされる方へのお願い

- 本説明書は袖壁コンビパネルプランの取付・設置を補足するものです。
取付・設置の際はベースキャビネットに付属している取付・設置説明書とあわせて正しい設置を行ってください。

安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

取付・設置上の注意

警告

製品は水平で平滑な壁面・床面に
しっかりと固定する。



製品が倒れてけがをするおそれがあります。

製品固定ネジを空転するまで
無理に締め込まない。



製品が倒れたり落下して、けがをする
おそれがあります。

設置は、建築側の構造を確かめて
取付・設置説明書どおりに正しく行う。



製品が倒れたり落下して、けがをするおそれ
があります。

ステンレス製ワークトップやシンクを
取り扱う時は必ず保護手袋をする。



切断面にさわると、けがをするおそれ
があります。

注意

取付・設置完了後は扉の傾き、がたつき、
丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
扉が傾いたり、がたついたりして
いる時は、丁番のネジをしめなおす。



使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

コンロと接する壁面は、必ず不燃仕上げ
とする。



火災のおそれがあります。

取付設置に使われる溶剤、その他
薬品類はそれぞれの注意表示に
従って正しく使う。



誤った使い方をすると人体に影響が出たり
使用部材の損傷や劣化の原因になります。

壁がコンロと接する場合でやむを得ず
壁面が可燃物の場合はキッチン本体を
壁面から12mm以上離して設置し、
別売の防熱板を取り付ける。



火災のおそれがあります。

別売のキッチンパネルで仕上げた場合
でも、コンロと接する場合は、別売の
防熱板を必ず取り付ける。



キッチンパネルに炎が直接当たって、変色する
おそれがあります。

絶対に分解したり、修理・改造したり
しない。



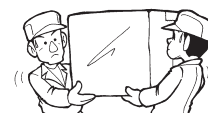
思わぬ事故や故障の原因となります。

取付け・設置上のお願い

お願い

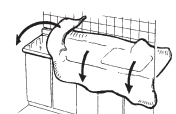
運搬中ぶつけないように注意してください。また運搬は
2人以上で行ってください。

製品および周辺設備が破損したり、傷がつき、使用できなくなるおそれ
があります。



設置中はワークトップにおおいをし、製品を保護してください。

くぎやネジ類が落ちてきた場合、表面に傷がつくおそれがあります。



清掃する場合は、台所用中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、
変質の原因になります。



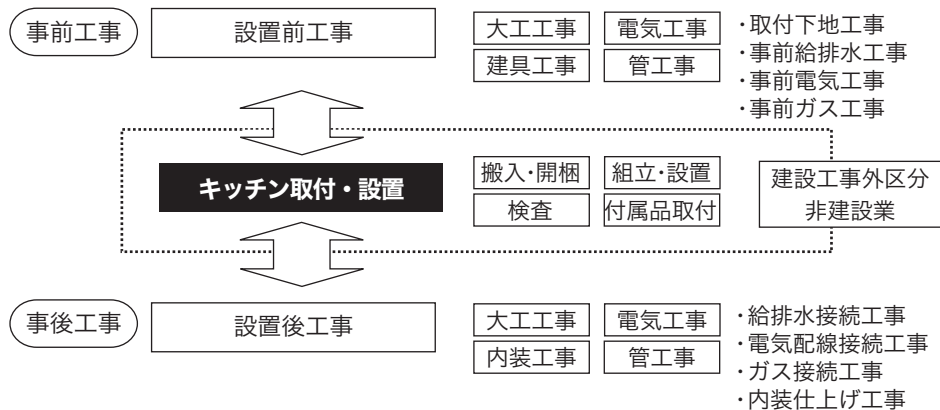
工事区分

警告

- ◎ 本説明書は、コンパクトキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
- 建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
- 流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「コンパクトキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。

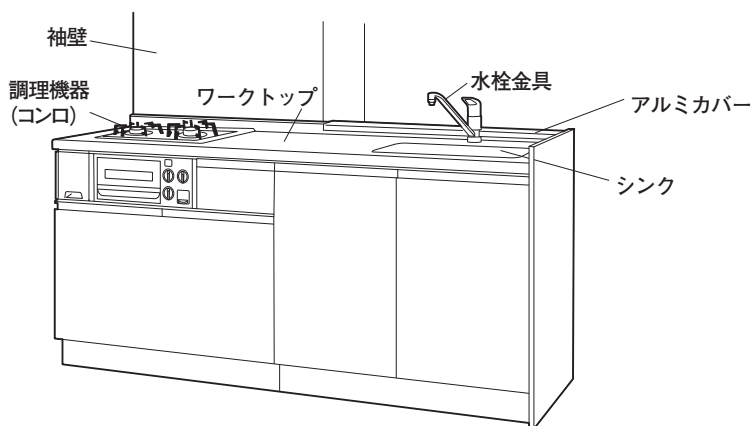


■コンパクトキッチンの取付・設置とユニット工事区分

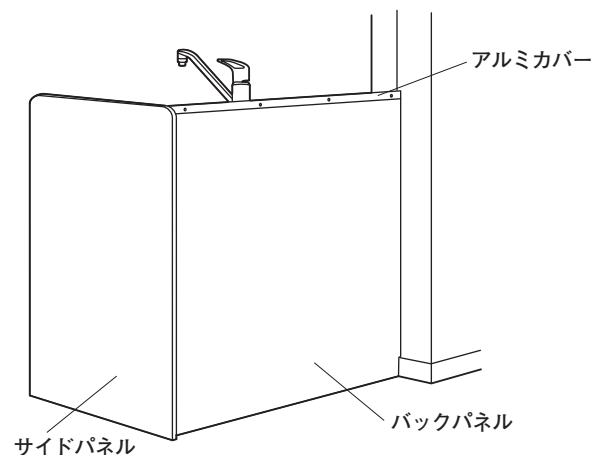


各部の名称

袖壁コンビパネルプラン



キッチン側



ダイニング側

設置前の準備と確認

<取付・設置に必要な工具>

- プラスドライバー



- 充電ドライバー（電気）



<付属部品>

下記の部品が付属されています。不足品がないことをご確認ください。

バックパネル

付属部品名	仕様	間口 (cm)		
		90	105	120
パネル固定金具		2個	2個	2個
スペーサー	厚さ15mm	4個	4個	4個
L金具		5個	2個	2個
クッション材	幅25mm 黒	1本	2本	2本
アルミカバー	長さ895mm	1本	—	—
	長さ1045mm	—	1本	—
	長さ1195mm	—	—	1本
パネル固定金具、L金具取付ねじ	トラスタップインφ3.5×13	24本	8本	8本
アルミカバー取付ねじ	皿タップインねじφ3×16	4本	4本	4本
連結ワッシャー	金属	4本	4本	4本
パネル取付ねじ	皿タップインねじφ3.5×30	4本	4本	4本
側スペーサー	厚さ15mm	1本	—	—

サイドパネル

付属部品名	仕様	数量
化粧キャップ	色相:白	4個
連結ワッシャー	金属	4個
キャビネット連結ねじ	コーススレッドφ3.8×28	4本

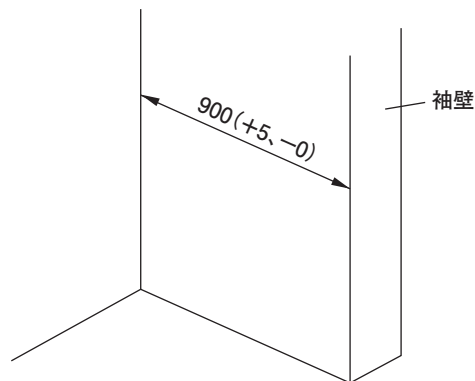
取付・設置手順

※ワークユニットの設置・連結方法などについては、コンパクトキッチン取付・設置説明書の「3. ワークユニットの取付け」を参照ください。

1. 事前工事

(1)ー1 袖壁の準備 **大工工事**

- 右図のように事前に袖壁を設置してください。



注 意

- 袖壁は指定の寸法で仕上げる。

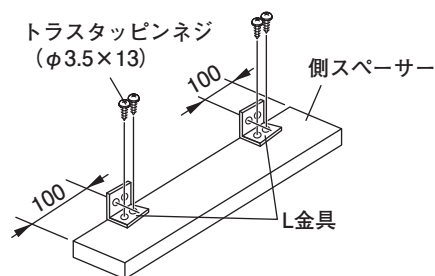
指定寸法の範囲外で仕上げると、パネルを取り付けた際に隙間が生じたり、パネルが壁と干渉するおそれがあります。



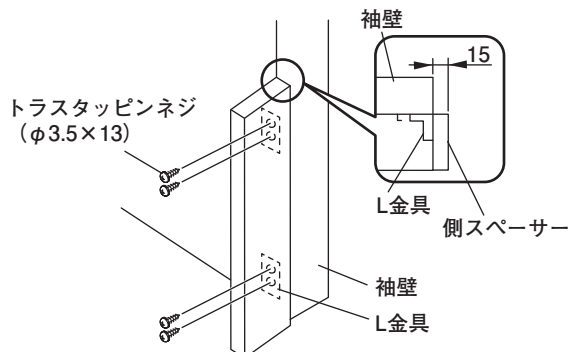
2. キャビネット設置前の準備

①側スパーサーの取付け（間口180cm開き扉タイプのみ）

- ・側スパーサーにL金具をトラスタッピンネジ（ $\phi 3.5 \times 13$ ）で図のように取付けてください。

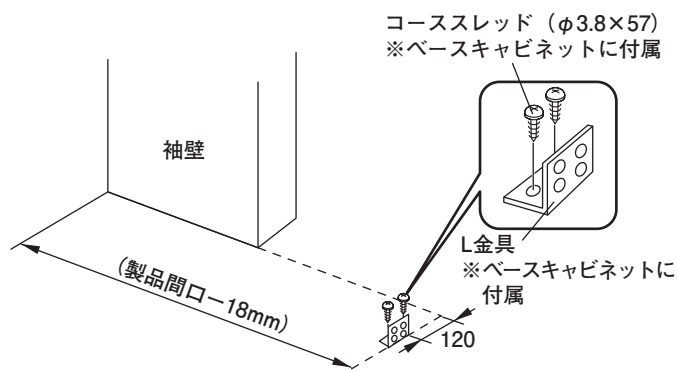


- ・袖壁に側スパーサーを取付けてください。



②床面へのL金具の取付け（スライドタイプのみ）

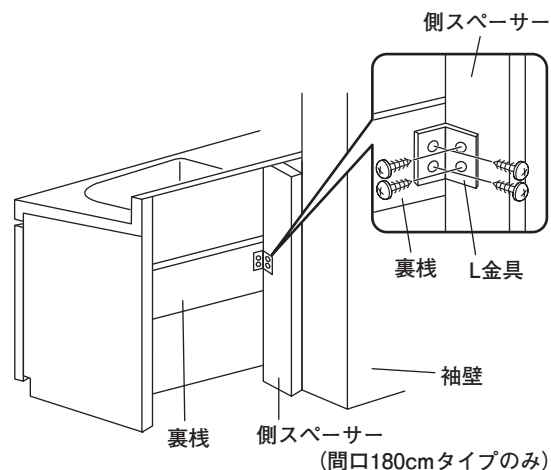
- シンクキャビネット床固定用のL金具を指定の位置に取付けてください。



3. キャビネットの取付け

■開き扉タイプの場合

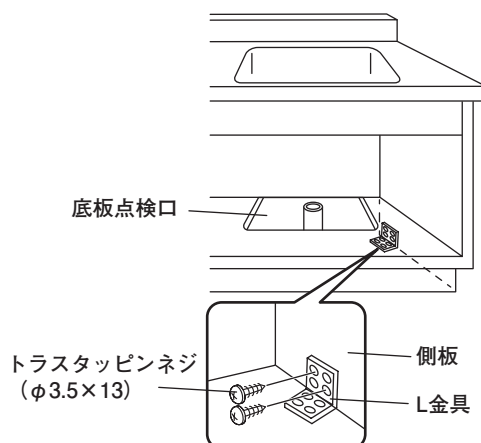
- ・コンパクトキッチン取付・設置説明書「3-(3).ベースキャビネットの取付け」を参照してください。
- ・間口180cm仕様の場合は、L金具で袖壁に取付けた側スパーサーを、キャビネット裏棧に固定してください。



■スライドタイプの場合

- ・コンロキャビネットはコンパクトキッチン取付・設置説明書「3-(3).ベースキャビネットの取付け」を参照してください。
- ・シンクキャビネットは、底板の点検口より床面にあらかじめ取付けておいたL金具をトラスタッピンネジ（ $\phi 3.5 \times 13$ ）で側板内側に固定してください。

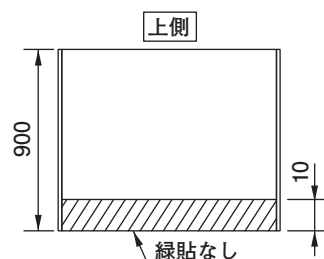
- ※人造大理石ワークトップの取付けは、必ずバックパネルを取付けてから行ってください。



4. バックパネルの取付け

①バックパネルの切断（ステンレスワークトップの場合のみ）

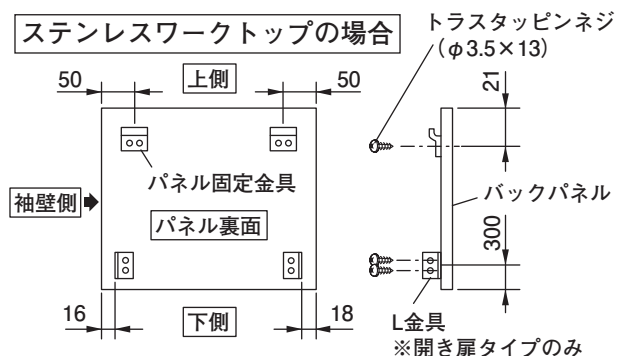
ステンレスワークトップの場合は、バックガードの高さが人造大理石に比べて10mm低い為、バックパネルの切断が必要です。バックパネルを下側10mm切断してください。



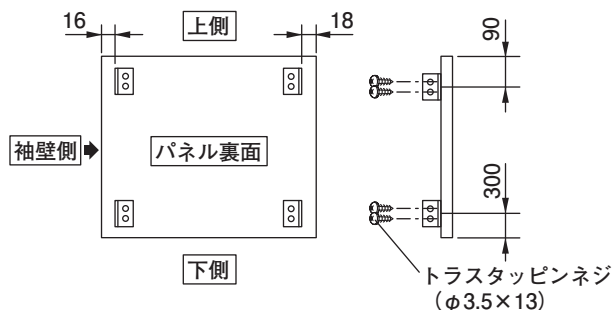
②バックパネルへの部品取付け

■開き扉タイプの場合

- ・ステンレスワークトップの場合は、パネル固定金具とL金具をトラスタッピンネジ（φ3.5×13）でバックパネルの裏面に取付けてください。

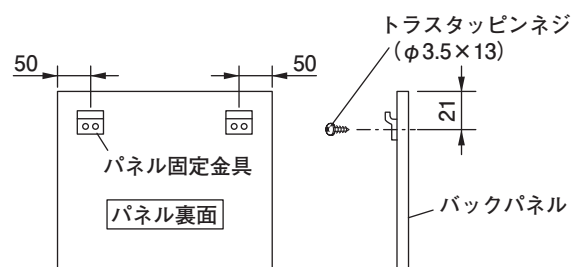


- ・人造大理石ワークトップの場合は、L金具をトラ
スタッピンネジ（φ3.5×13）でバックパネルの
裏面に取付けてください。



■スライドタイプの場合

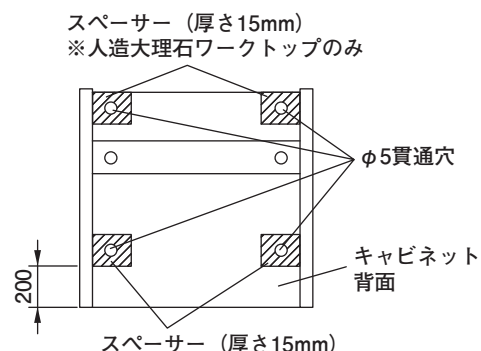
- ・ステンレスワークトップの場合は、パネル固定金具をトラスタッピンネジ（φ3.5×13）でバックパネルの裏面に取付けてください。



- ・人造大理石ワークトップの場合は、バックパネルへの部品の取付けはありません。

③キャビネットへのスぺーサー取付け（スライドタイプのみ）

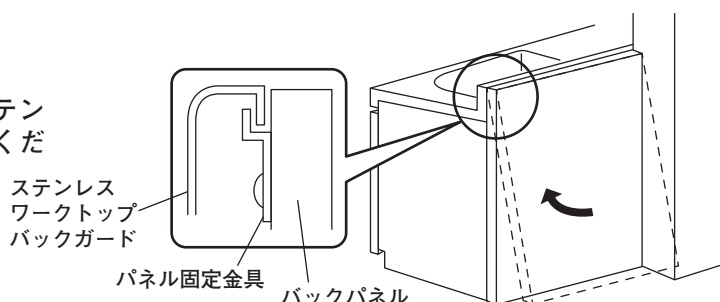
- ・スライドタイプの場合はキャビネット背面の右図の位置にスペーサー（厚さ15mm、両面テープ付）を貼ってください。
- ・人造大理石ワークトップの場合は、上側にもスペーサー（厚さ15mm、両面テープ付）を貼ってください。
- ・キャビネット背面より、スペーサーの中央付近にφ5貫通穴を開けてください。



④バックパネルの仮設置

■ステンレスワークトップの場合

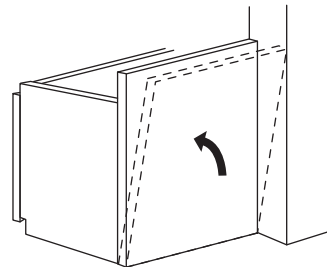
バックパネルに取付けたパネル固定金具をステンレストップのバックガード裏面に引っ掛けてください。



■人造大理石ワークトップの場合

バックパネルをキャビネットの背面に仮設置してください。

(注) バックパネルが倒れないよう注意してください。

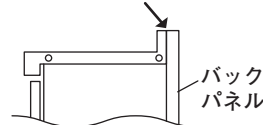


※バックパネルの高さ位置調整

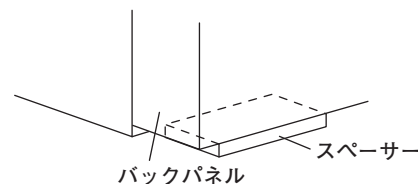
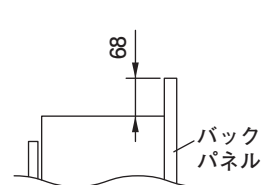
ベースキャビネットに同梱のスペーサーを使い右図のようになるよう、固定位置を調整してください。

ステンレスワークトップの場合

バックガード上端と
パネル上端を合わせる



人造大理石ワークトップの場合

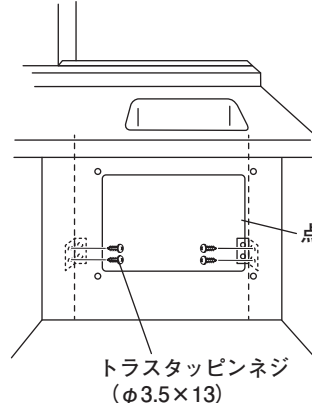


⑤バックパネルの取付け

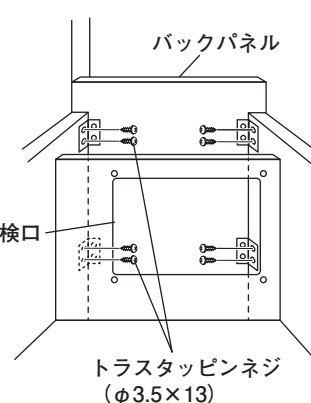
■開き扉タイプの場合

シンクキャビネット内背面の点検口フタを取外し、バックパネルに取付けたL金具より、キャビネット側板に向かって、トラスタッピンネジ (φ3.5×13) で固定してください。

ステンレスワークトップの場合



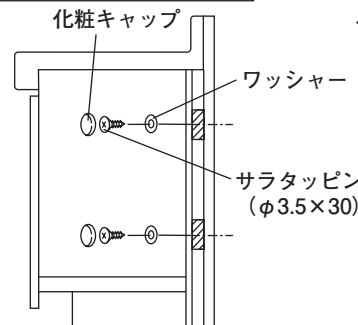
人造大理石ワークトップの場合



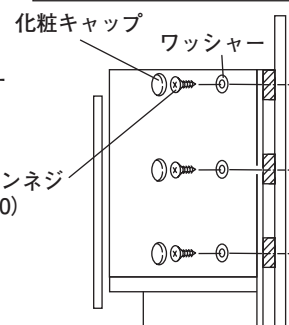
■スライドタイプの場合

キャビネット背面に開けたφ5貫通穴を使い、サラタッピンネジ (φ3.5×30) をワッシャーに通し、バックパネルに向かって固定してください。固定後、ワッシャーに化粧キャップを取付けてください。

ステンレスワークトップの場合



人造大理石ワークトップの場合

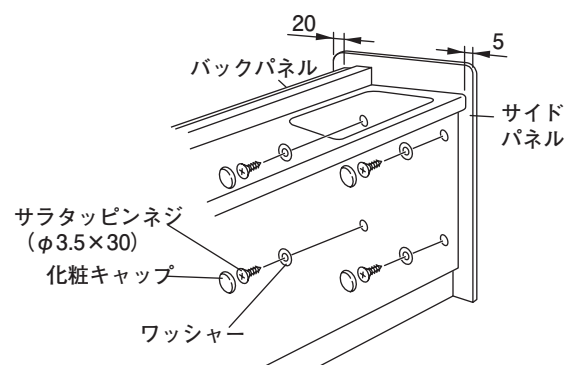


5. 人造大理石ワークトップの取付け

人造大理石ワークトップの取付け方法は、コンパクトキッチン取付・設置説明書の「3-(4)．ワークトップの取付け」を参照ください。

6. サイドパネルの取付け

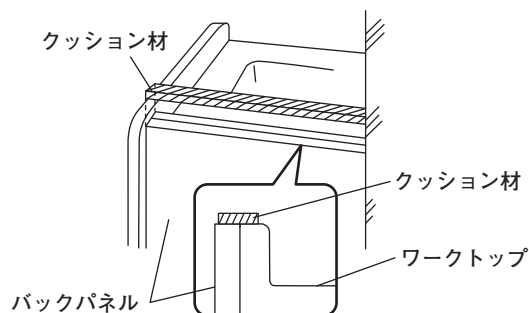
サイドパネルに同梱の取付・設置説明書を参照ください。取付け位置は右図を参照ください。



7. アルミカバーの取付け

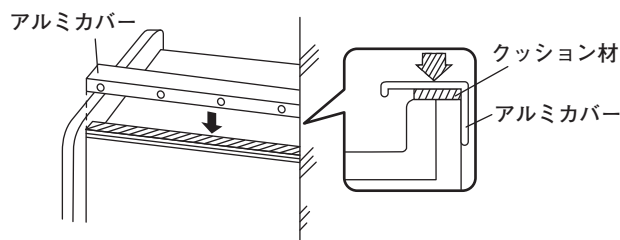
①クッション材の取付け

- ・バックパネル及び、ワークトップのバックガード上面に汚れやほこりが無いことを確認し、汚れがある場合は清掃してください。
- ・クッション材をバックパネルとワークトップのバックガード上面の両方にまたがるように、貼り付けてください。



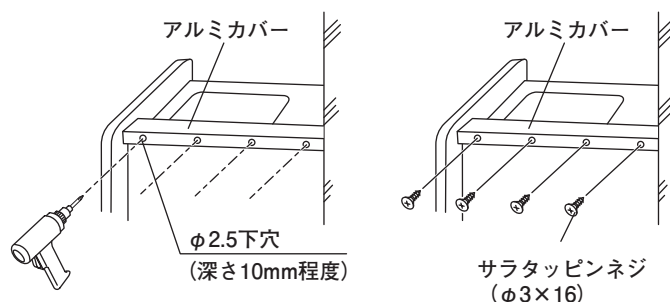
②アルミカバーの取付け

- ・バックパネル及び、ワークトップのバックガード上面にアルミカバーをかぶせてください。



- ・アルミカバーの上からクッション材がつぶれきるまで押し、アルミカバーの穴よりバックパネルにφ2.5の下穴（深さ10mm程度）を開け、サラタッピンネジ（φ3×16）でアルミカバーとバックパネルを固定してください。

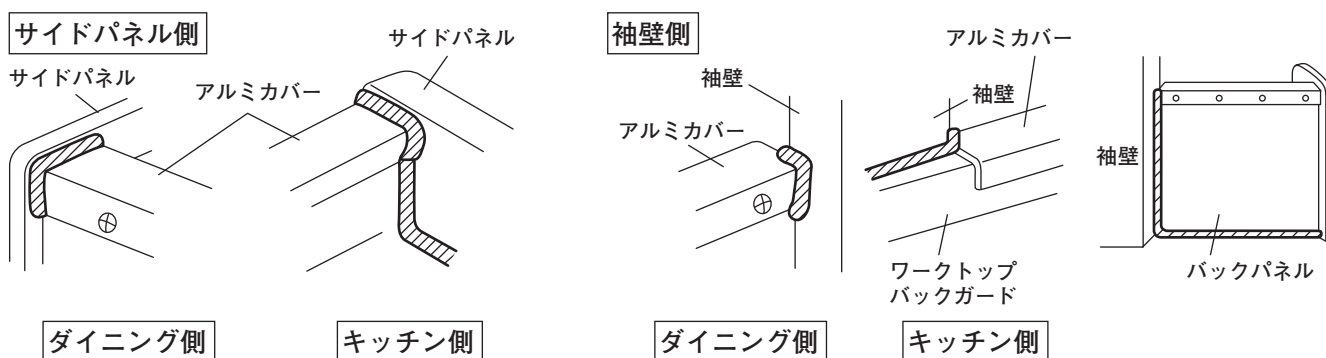
(注) ネジ固定は必ずまっすぐに固定してください。



仕上げ

(1) アルミカバー部のシール

- サイドパネル及び袖壁がアルミカバーと接する部分は必ずコーキングを使用して完全にシールしてください。



点検・完了後の処置・残材処理

- ベースキャビネットに付属している取付・設置説明書をご覧ください、点検、完了後の処置、残材処理を行ってください。

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841 Tel.027-395-0410 www.housetec.co.jp